SAITAMA CHORAL NEWS パウゼ

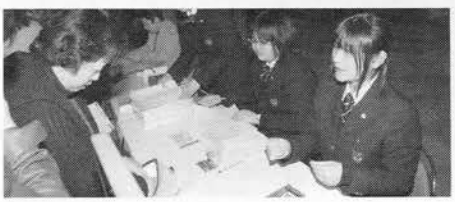
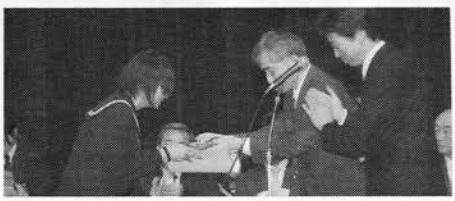
Pause

第 3 7 号
2012 年 10月 15日

埼 玉 県 合 唱 連 盟
〒330-8557 さいたま市浦和区常盤4-12-13
(朝日新聞さいたま総局内)
TEL　048-824-8161
FAX　048-831-5310
http://saicl.net/

第 1 回
関東ヴォーカルアンサンブルコンテスト

2012年３月25日(日)　小学校・中学校・高等学校・一般部門
於：埼玉県／和光市民文化センター

去る３月25日（日）、和光市民文化センターにおいて長年の悲願であった第１回関東ヴォーカルアンサンブルコンテストが行われ、盛会の裡に終了しました。

近年、小編成でハーモニーを磨き、アンサンブルを楽しむグループが増えている中で、全日本合唱連盟関東支部各県（茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、神奈川、山梨、新潟、静岡の９県で構成）においてもヴォーカルアンサンブルの大会を行うところが増え、現在は関東支部傘下のすべての県で開催されています（茨城はフェスティバル、他はコンテスト）。こうした背景の下、関東支部としても各県の大会と連携しながらヴォーカルアンサンブルコンテストを実施しようという気運が盛り上がり、埼玉が中心となってここ数年協議を重ねてきました。同じヴォーカルアンサンブルといっても部門の設定や人数の範囲、演奏時間など各県まちまちで支部運営委員会でも議論百出でしたが、昨年度にようやく要項が固まり、第１回の大会を埼玉県で開催できる運びとなりました。

部門は小学校・中学校部門、高等学校部門、一般部門の３部門。出演団体は、部門を問わず各県５団体、開催県は10団体が各県理事長の推薦で出演できるという規定のもと、当日は小学校・中学校部門16団体、高等学校部門18団体、一般部門15団体、計49団体（神奈川は４団体）がエントリーして行われました。結果は、埼玉10団体のうち７団体が金賞と合唱王国の面目躍如たるものがありました。

この大会は、県のほか地元和光市にも後援していただくとともに、文化センターを管理する財団法人和光市文化振興公社に共催していただき、会場費の減免から運営のサポートまで全面的にご協力いただきました。この紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

一つ残念だったのは、小学校・中学校部門の表彰式に和光市長がお見えになり、同市出身の詩人清水かつらの作詞による童謡「叱られて」や「みどりのそよ風」を知っているか聞いたところ、ほとんどのメンバーが知らなかったということでした。第２回も和光市での開催が決まっています。次回は、是非出演者に覚えていただいて、合唱する機会をつくりたいと考えています。　　（副理事長　新祖　章）

さいたま市立海老沼小学校合唱部
歌で感動を…

部長(当時)　鈴 木 琳太朗

賞を取るのが目標ではない。

どれだけの人に、自分達の歌で感動を与えられるか。

これを目標に、ぼく達海老沼小学校合唱部は、いつも練習に取り組んできました。

待ちに待った関東大会当日。「小・中学校部門」という名前でしたが、ぼく達以外のグループは、みんな中学生でした。そして中学生は、とても美しいハーモニーで演奏していました。ぼく達とは違って、男声と女声の歌声が音楽に幅を持たせ、美しく重なり合っていました。

ぼくは今回中学生と同じステージで歌い、一緒に競い合ったことで、初めて真剣に中学生のグループの歌を聴くことができ、それがとてもいい勉強になりました。

この大会でぼく達の歌声が、誰かに感動を与えることができたかはわかりませんが、中学生のグループの歌声が、ぼく達を近い将来の目標へと導いてくれたようで、とてもよい経験となったコンクールでした。

これからも合唱で、たくさんの人達に感動を与えていきたいです。

Paradise Relax
団員一同心をこめて…

団員　勝 又 有 咲

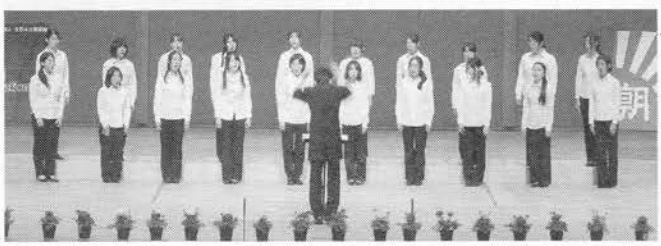
今年度から開催された関東ヴォーカルアンサンブルコンテストに、埼玉県の一般部門の代表として出演させていただきました。このような素晴らしい舞台に立てる喜びと、感謝の気持ちでいっぱいになりながら、団員一同心をこめて練習に励みました。

コンテストはさすがに関東大会というだけあり、小・中学校部門、高等学校部門、一般部門、それぞれ各県代表の団体の演奏は、素晴らしいもので圧倒されました。

そんな中で私たちの合唱団も金賞をいただいて、団員にとっては大きな喜び、何より大変な励みになりました。

例年は、この時期に他県の合唱団の演奏を聴くことができる機会はめずらしく、そういった意味でもこのコンテストはとても有意義なものです。

そのような良い場を用意してくださった関東支部、そして埼玉県の合唱連盟の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



第1回　関東ヴォーカルアンサンブルコンテスト審査結果

★小学校・中学校部門

【金　賞】栄東中学校コーラス部、星野学園中学校、春日部市立豊春中学校混声合唱団

【銀　賞】さいたま市立海老沼小学校合唱部

★高等学校部門

【金　賞】星野高校音楽部A、星野高校音楽部B、県立浦和高校グリークラブB

【銀　賞】県立浦和高校グリークラブA

★一般部門

【金　賞】Paradise Relax

【銅　賞】女声アンサンブルOlive

撮影：スタッフ・テス㈱

SAITAMAコーラスワークショップ2012

（第27回　埼玉県合唱講習会）

2012年５月13日（日）　於：和光市民文化センター

５月13日（日）に和光市民文化センターにおいて今年度のワークショップを開催いたしました。

前半はNHKコンクール中学校の部と全日本合唱コンクールの課題曲講習として、指揮者の竹内秀男先生と清水雅彦先生をお迎えし、NHKは参加者が歌いながら、全日本はモデル合唱団への指導で講習を進めました。

まず、NHKの講座ですが、当日は多くの中学生の参加のもと、熱気ある講習となりました。発声から曲の解釈まで、竹内先生から様々なアドバイスをいただきました。

また、全日本の課題曲からは、混声のG1とG2、女声のF4を取り上げ、モデル合唱団への清水先生のご指導を中心に進める形で行われましたが、それぞれの合唱団の特徴を生かしながら、作品の本質へと迫っていく講座は大変内容の濃いものとなりました。モデル合唱団の数が時間に対して多かったこともあり、もう少しじっくりと取り組んだ講座内容であってもよかったのでは、と言うようなご意見もいただきました。今後の参考とさせていただきたいと思います。

さらに、竹内先生には、中学校の指導者を対象に、先生がこれまで培ってこられた合唱指導法を直接お話し頂く講座も持っていただきましたが、特にこれから合唱を指導していく先生方にはなによりの時間となったようです。

後半は、「歌おうNIPPONプロジェクト　SAITAMA2012」と題して、カワイ出版が展開しているプロジェクトの中から選んだ曲を、お集まりいただいたみなさんに舞台で歌っていただき、ビデオに収録する取り組みを行いました。ジュニア、男声、女声、混声ごとに１曲ずつ収録し、You　Tubeにアップされておりますが、ご覧頂けましたでしょうか。ご協力いただきました皆さまに心から感謝申し上げますと共に、被災された方々に、少しでも気持ちと歌声をお届けすることが出来ましたら幸いです。　（常務理事　國弘　雅也）

第 57 回
埼玉県合唱祭

2012年６月２日(土)・３日(日)　於　埼玉会館
９日(土)・10日(日)　於　さいたま市文化センター
17日(日)　於　熊谷文化創造館

第57回埼玉県合唱祭が６月２日(土)（埼玉会館）を皮切りに、３日(日)（同会場）、９日(土)（さいたま市文化センター）、10日(日)（同会場）、17日(日)（熊谷文化創造館）の全５日間開催され、大盛況のうちに幕を閉じました。

毎年開催に５日間を要し、250を超える団体と、のべ約6,000人の参加者を迎えての「大」合唱祭は全国でもそう例を見ず、まさに「合唱王国埼玉」といった風情でした。

また、出演者の皆さんの華やかなステージ、そして周到な準備・スムーズな進行の裏には、合唱連盟理事の諸氏をはじめとして、当日係員としてお手伝いいただいた各合唱団のメンバーの方々の深いご理解とご協力の支えがありました。

ここに深く感謝申し上げます。

合唱祭ではそれぞれの出演団体の個性溢れるプログラムが、その最大の魅力とも言えるでしょう。歌と踊りのミュージカルナンバーあり、正統派のロマン派音楽あり、また、美しい日本の叙情ありと、彩り鮮やかなステージが楽しめました。

さて、今年の目玉は各日にお一人ずつお迎えした豪華講師陣です。（合唱祭自体は、当連盟関係者を含め各日２名の講師で行いました。）寺嶋陸也、関定子、久邇之宜、栗林朋子、宮本益光の各氏をお招きしました。作曲家やピアニスト、あるいは声楽家とそれぞれ本業の立場は違えども、内外を問わず現役で大活躍されている音楽家に講評をいただく機会などそうそうあるものではありません。厳しくも温かで、親身な講評をいただけたことで、各団とも明日からの活動の明確な指針になったかと思います。大変好評を博した豪華講師陣、来年も継続します。どうぞご期待ください。

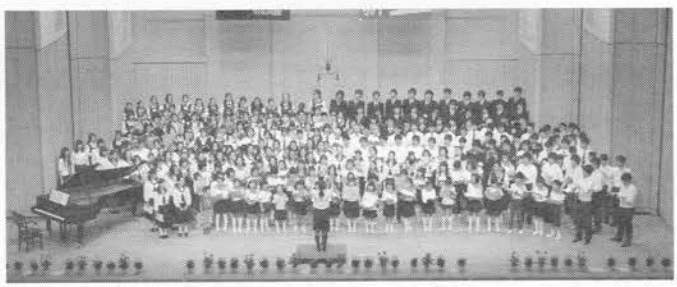
一方、反省を要する点も何件か見られました。

まずは会場でのマナーです。合唱祭では、出演者＝聴衆でもあります。聴衆のいない演奏会は成り立ちません。閑散とした客席を前にして歌うのは、何とも言えない寂しさを感じることでしょう。音楽仲間の演奏をぜひホール内で聴いていただきたいと思います。その上で、演奏中のマナーには特に気を配りたいものです。

また、特に残念だったのは今年もタイムオーバーが出てしまったことです。該当団体については来年度は半分の出演時間（４分）となります。他団体の皆様につきましてもプログラムを組まれる際には、演奏タイムについても充分にご確認いただいた上でご参加いただけるよう、よろしくお願いいたします。

何点か耳の痛いお話もさせていただきましたが、会員の皆様のご理解とご協力をいただきながら、これからもより良い合唱祭の運営に努力してまいりたいと思っています。

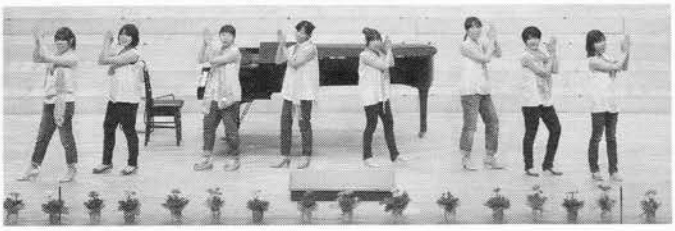
（常務理事　石山　明）



voces kunel

何度も録音し、話し合い…

代表　梶 谷 希 美



合唱祭は、私たちvoces kunel（ヴォーチェス　クウネル）が発足して初の舞台。この日に向けて私たちは、「聴いてくださる人たちに楽しんでもらうにはどうしたらいいか」を考えながら練習に励みました。練習は週に一回。さいたま市の公民館に集まります。自分たちが歌った歌を何度も録音し、どこがよくないかを話し合い、また歌い・・・の繰り返しです。２曲目は振りをつけて踊ることにも挑戦し、何度も録画し、どうしたらもっとよくなるかを話し合い、また踊り、歌い・・・。

そして迎えた本番。８人という少人数で舞台に臨んだ私たちは、もちろんみんなすごく緊張していました。しかし、ステージに上がると・・・。私たちを迎えてくれたのは、大きなあたたかい拍手でした。歌いだすとあっという間の２曲でしたが、あたたかいお客さまに見守っていただき、楽しんで歌いきることができました。歌い終わった後の大きな力強い拍手は、今でも忘れられません。私たちが歌い続けていく原動力の一つになっています。

このような機会を与えてくださった合唱連盟のみなさま、そして、あの日、あたたかく迎えてくださった合唱祭出演者のみなさまに感謝します。ありがとうございました。

ヴォーカルアンサンブル未生

さらに魅力ある演奏を…

団員　久保田　衛

埼玉県合唱祭への出演は、今回で２回目です。家庭と勤めを持ちつつも、充実した合唱を自分たちに出来る範囲で精一杯やろうという10名弱のサラリーマンたちが、定期ではない演奏会に向けて、毎月２回、土曜日に練習をしています。合唱祭は“祭”なので、自分たちが楽しみつつも聴衆のお客様方にも楽しんでもらえるような選曲で臨んでいます。それだけに、演奏直後のお客様の反応は大変気になるところで、これまでの２回では、大きな拍手や声援をいただけていずれも好評だった、と勝手に満足しています。

埼玉県合唱祭は参加団体が多くて驚きです。当然お客様も大勢いらして…と思いきや、一般のお客様が少なく、ロビーでおしゃべりに興じている学生の多いことにびっくり。拘束時間が長くて聴きくたびれてしまうのでしょうか。せっかくの“祭”ですから、もっとお客さんをたくさん呼んで、賑やかなものにしたいですね。それには、演奏ブロックを細かく分ける等、もっと聴きやすくする工夫が必要かもしれません。もちろん、私たちの演奏自体も魅力あるものにしなくては、という自戒を込めてですが。…私たちは少人数ながら、そんなことも結構真面目に考えながら活動しています。

越谷児童合唱団

様々な世代の演奏を聴けて…

指導代表　土 屋 美哉子

発足から１年と少し。はじめは学校での課外活動との勝手の違いに戸惑いながらも、地域に根付いた合唱団を目指して、試行錯誤を重ねながら日々活動を続けて参りました。

お陰様を持ちまして４月には第１回定期演奏会を開催し、重唱や合唱に吹奏楽器に箏や三味線、ダンス等も織り交ぜた多彩な３部構成の舞台を披露することが出来ました。

しかし、まだまだ駆け出しの当団には演奏の機会や、厚みのあるハーモニーを肌で感じる機会は殆どなく、この度の合唱祭への参加は、子どもたちにとって大変貴重な機会となりました。自分たちが演奏することは勿論、会場が一つとなった全体合唱や、様々な世代の方の演奏を聴けたことは子どもたちにとって大いに刺激になり、また励みとなったようです。

来年３月の第２回定期演奏会では、重唱や合唱といった従来のプログラムに、ミュージカルを交えた新しい舞台の形に挑戦したいと考えており、子どもたちを大きく成長させてくださったこの度の合唱祭の経験は、次なる舞台の実現に向けての大きな一歩となったと感じております。このような有意義な経験の場をいただけましたことに、この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。

撮影：スタッフ・テス㈱

第 55 回

埼玉県合唱コンクール

2012年８月24日(金)　中学校（混声・同声）の部
25日(土)　大学の部・高等学校の部
９月２日(日)　小学校の部・彩の国の部・一般の部
於：さいたま市文化センター

第55回埼玉県合唱コンクールは、８月24日(金)中学校の部、８月25日(土)大学・高等学校の部、９月２日(日)小学校・彩の国・一般の部と３日間、さいたま市文化センターで開催しました。３日間の参加団体は、前回と比べ５団体増の125団体（うちシード５団体)、参加人数も188名増の3,952名となりました。３日間の入場者は2,629名、前回より199名増となりました。運営にあたり多大なるご協力を賜りました審査員の先生方、係・役員の方々、スポンサーの皆様にこの場を借りて御礼申し上げます。

小委員会・理事会ではたくさんの反省点が話し合われました。コンクールは毎年同じように行われているように思われがちですが、この反省点をもとに毎年様々に微細な点について改善を試みています。他の事業に比べると厳格性を求められる部分もありますが、それでも各合唱団の活動の励みとなるステージ、素晴らしい思い出として残るコンクールとなりますよう今後も努力していく所存です。

恒例のエール交歓

打ち合わせ会や閉会式でもお伝えしました通り、来年度は全日本合唱コンクール大学・職場・一般の部の再編成に伴い、本県のコンクールも部門が変わります。今後、関東支部の規程変更が発表された後で検討し、なるべく早く本県の規程変更・各合唱団への連絡ができるようにしたいと思っております。本年度までこれらの部門に御参加いただきました合唱団につきましては、来年度以降も是非新しい部門で御参加くださいますようご検討を宜しくお願い致します。

（常務理事　小松　直詩）

撮影：スタッフ・テス㈱

第55回 埼玉県合唱コンクール審査結果

平成24年８月24日(金)　中学校（混声・同声）の部
25日(土)　大学の部・高等学校の部
９月２日(日)　小学校の部・彩の国の部・一般の部
於：さいたま市文化センター

★中学校（混声）の部
【金　賞】春日部市立武里中学校合唱団（教育長賞）、所沢市立南陵中学校混声合唱団（埼玉県文化団体連合会賞）、所沢市立所沢中学校混声合唱団、春日部市立豊春中学校混声合唱団
【銀　賞】小鹿野町立小鹿野中学校音楽部、所沢市立三ヶ島中学校合唱団、所沢市立上山口中学校合唱部、松伏町立松伏中学校３年有志合唱団
【銅　賞】川越市立初雁中学校合唱団、久喜市立栗橋西中学校有志合唱団、川越市立大東西中学校合唱団、行田市立南河原中学校合唱部、川口市立北中学校混声合唱団、行田市立見沼中学校合唱部
【優良賞】さいたま市立宮原中学校合唱部（奨励賞）、ふじみ野市立葦原中学校 ムジーク クライス、上尾市立太平中学校有志合唱団、日高市立高根中学校有志合唱団

★中学校（同声）の部
【金　賞】栄東中学校コーラス部（知事賞）、所沢市立向陽中学校コーラス部（教育長賞）、所沢市立狭山ヶ丘中学校合唱部（埼玉県文化団体連合会賞）、春日部市立春日部中学校合唱部、ふじみ野市立大井中学校音楽部、秩父市立秩父第一中学校コーラス部
【銀　賞】秩父市立秩父第二中学校、伊奈町立小針中学校合唱部、熊谷市立富士見中学校音楽部、川口市立戸塚中学校、加須市立昭和中学校音楽部、蕨市立第一中学校音楽部、さいたま市立城南中学校合唱団
【銅　賞】熊谷市立大原中学校合唱部、熊谷市立熊谷東中学校合唱部、川口市立青木中学校コーラス部、川口市立西中学校音楽部、深谷市立上柴中学校音楽部
【優良賞】加須市立加須西中学校音楽部（奨励賞）、川越市立川越第一中学校合唱団、宮代町立須賀中学校合唱部、秩父市立影森中学校、久喜市立久喜中学校合唱部、加須市立騎西中学校音楽部

★大学の部
【銀　賞】文教大学合唱団 コール・リンデ
【銅　賞】大東文化大学混声合唱団

★高等学校の部
【金　賞】県立浦和高校グリークラブ（知事賞）、松山女子高校音楽部（教育長賞）、大宮高校音楽部（埼玉県文化団体連合会賞）、伊奈学園総合高校音楽部、熊谷高校音楽部、小松原高校音楽部、久喜高校音楽部、川越女子高校音楽部
【銀　賞】春日部女子高校音楽部、熊谷女子高校音楽部、栄東高校コーラス部、大宮光陵高校合唱団、不動岡高校音楽部、芸術総合高校合唱部、大宮開成中学・高校コーラス部、川越南高校音楽部
【銅　賞】春日部高校音楽部コーロ・マスキーレ、川口北高校コーラス部、秩父高校音楽部、秩父農工科学高校コーラス部、埼玉栄高校コーラス部、坂戸西高校音楽部、所沢北高校音楽部、秋草学園高校音楽部
【優良賞】さいたま市立浦和南高校音楽部（奨励賞）、熊谷西高校合唱部、小松原女子高校合唱部、蕨高校音楽部、川口市立県陽高校音楽部、浦和学院高校コーラス部、春日部共栄中学高校合唱部、小川高校音楽部
【シード】松伏高校合唱部、浦和第一女子高校音楽部、県立川越高校音楽部、星野高校音楽部、慶應志木高校ワグネル・ソサィエティー男声合唱団

★小学校の部
【金　賞】さいたま市立海老沼小学校合唱部
【銀　賞】川口市立並木小学校 白百合合唱団、川越市立高階小学校合唱部

★彩の国の部
【金　賞】加須 J.（理事長賞）、コール・ドルチェ（彩の国特別賞）、ancora !、開智未来中学高校コーラス部、川口市立川口総合高校音楽部、春日部ジュニアコーラス（彩の国特別賞）、浦和ブルーコーラス
【銀　賞】混声合唱団 獅子、Blanc Bouleau、大宮コール・ヴァイオレット、羽生第一高校コーラス部、久喜北陽高校コーラス部
【銅　賞】Wings Jr.、鳩ヶ谷高校合唱同好会、岩槻高校合唱部、やまとなでしこ、アンサンブル・ソアーヴェ
【優良賞】寄居城北高校コーラス部、羽生高校音楽部、妻沼高校合唱部、浦和実業学園高校合唱部

★一般の部
【金　賞】La Mer（知事賞）、クール・ヴァン・ヴェール（教育長賞）、合唱団「あべ犬東」（埼玉県文化団体連合会賞）、Wings、合唱団 amore
【銀　賞】Paradise Relax、M☆Girls、混声合唱団 川越牧声会、Vive la Compagnie、浦和混声合唱団
【銅　賞】益楽男グリークラブ、scatola di voce、voces kunel、小松原 OB 合唱団「ピエロ」、女声合唱団 きらり
【優良賞】T-Croce（奨励賞）、コール・マーガレット、コーラル・デイジー、Canto di Alauda、Chor Kraut

全日本理事長賞　　県立浦和高校グリークラブ

下線の団体は関東支部大会への代表

Tact vol.14

指揮者　岡 留 昭 氏

魂の合唱に感動して…

新任として赴任した草加南高校で校長から、「ここは住宅地で吹奏楽は出来ないので合唱をやってくれ」と言われた。合唱に足を踏み入れたきっかけであった。それまでは合唱には興味がなく、自分の専門の声楽曲やオペラだけをやっていた。もちろん、小学生の時NHKコンクールに出たり、中、高、大学などの授業で合唱したり、助っ人で合唱団で歌ったりした経験はある。しかし、自分が歌っても、ラジオから流れる合唱音楽やレコードや演奏会場で合唱を聴いてもきれいだなとは思っても感動はしなかった。

☆ そんな私に、赴任した年の２月に行われた高校音楽祭で合唱に対する考えを180度変える出来事があった。新設３年目位の高校だったと思うが、その演奏を聴いて衝撃を受けた。不覚にも涙を流してしまった。その演奏は今でも鮮明に覚えている。曲目は髙田三郎氏の「水のいのち」の「川」と、大中恩氏の「月と良寛」の「手毬」、「月のうさぎ」であった。詩魂と言う言葉があるが、詩の言わんとする川の苦しみ、せつなさ、良寛の子供と遊ぶ様やうさぎが月にいるいきさつを私の魂の震わさんばかりの表現をしていた。声が少々硬かったり、音程の低いところがあったりはしたが、そんなことは問題ではなかった。合唱もこんなに人を感動させることが出来るんだと遅まきながら知らされた。これが私の合唱の原点である。

☆ それからは、合唱の「が」の字も知らなかった私は機会あるごとにいろんな先生方に教えを請い、関東指揮者協会に所属し、力のある先生方に刺激を受けたり、恵比寿にある合唱センターで春、夏期講習会に毎年参加したりした。また、オーケストラの公開リハーサルはアンサンブルや音楽の創り方の勉強になった。県の制度で長期研修というものがあって、１年間芸大で佐藤功太郎先生に指揮を師事した。先生は何年か前に亡くなられたが大変お世話になった。

☆ 合唱に足を踏み入れて37年経つが、中々私の目を開かせてくれたような魂の合唱ができない。奥が深い。しかし、合唱を通していろんな素晴らしい人との出会いがあり、私の人生を豊かにしてくれていることに感謝している。

第 35 回
全日本おかあさんコーラス関東支部大会

2012年７月７日(土)・８日(日)　於：静岡県／静岡市民文化会館

【選考結果】

7月7日		7月8日	
コーラル・ソシア	大会賞	清秀	大会賞
T-Croce	優良賞	ルシアス	優秀賞
ポローニア	大会賞	アンサンブル野ばら	大会賞
La Passione	大会賞	ウエスト・ウェーヴ	大会賞
女声合唱団 みなと	大会賞	ピアチェーレ	優良賞
大宮コール･ヴァイオレット	大会賞	女声合唱団 悠はるか	優良賞
コール・ドルチェ	大会賞		

下線の団体は全国大会への代表

T-Croce

女声合唱団 悠はるか

第 35 回
全日本おかあさんコーラス全国大会

2012年８月24日(金)～26日(日)　於：東京都／文京シビックホール

ルシアス

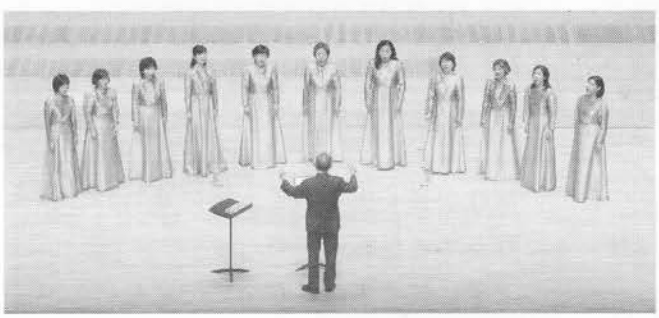
代表　藤 原 久美子

この度、ルシアスは第35回全日本おかあさんコーラス全国大会に出演し、ひまわり賞をいただきました。まるで夢のようで11名の団員一同たいへん喜んでおります。

ルシアスとして活動を始めて14年、毎年埼玉県大会に参加して参りましたが、12名以上という規定のため関東大会への抽選に参加できませんでした。４年前に８名以上に変更され、やっと道が開けましたが、くじ運が悪く外れること３回、ようやく今年、関東大会に進めることになりました。そこからは打って変わって、関東大会で優秀賞、抽選にも当たり全国大会へ、とトントン拍子でした。

華やかなイメージのおかあさんコーラス大会には似合わないかもしれませんが、少人数のアカペラアンサンブルなので、ふだん歌うことの多い宗教曲を選曲、３日間にわたる大会のトップバッターとしてホールに美しい響きが広がることを祈りつつ歌いました。そして選考発表。演奏順のため１番にひまわり賞と発表された時は、「嬉しい！」より、「びっくり！」の瞬間でした。

聴きごたえも見ごたえもある素晴らしい大会に参加でき、本当に幸せでした。また出演できるよう練習を重ねていきたいと思います。



ひまわり賞

ピアチェーレ

代表　野 瀬 美智子

７月、静岡で開催された関東支部大会に、今回は３度目の出演でした。そして幸運にも全国大会初出場という願いが叶いました。

常に前向きな姿勢と情熱で指導してくださる田尻先生のもと、15年の歳月が流れました。いろいろな曲に挑戦してきましたが、その積み重ねがこのステージに繋がったという喜びと、歌い続けて来て良かったという思いでいっぱいでした。

当日は第１日目の２番という早い出演順でしたが、東京会場「文京シビックホール」という近い会場に恵まれて、緊張の中にも普段の練習通り、思いきり楽しく歌う事が出来ました。ハンガリーの曲は今までも歌ってきましたが、今回はカライ作曲の「夕暮れの歌声」「跳ねて踊る」という素朴な生活感と変化に富んだリズム感のある２曲でした。快いリズムに体が自然に揺れ、初めて振り付けを入れました。初めは表情も硬くなりがちでしたが、桑子先生のすてきなピアノに誘われて、スムーズに曲の流れに乗ることが出来ました。

また全国各地の合唱団の、素晴しい演奏を聴く機会を得られたことも、楽しい思い出となりました。これからも長く歌い続けていきたいと思います。祈りと感謝を込めて。

おかあさんコーラス賞

撮影：スタッフ・テス㈱

彩の国男声コーラスフェスティバル2012

2012年10月６日(土)　於：秩父ミューズパーク音楽堂・野外ステージ

平成24年10月６日(土)秩父ミューズパークで「彩の国男声コーラスフェスティバル2012」が開催されました。本年も「ちちぶ芸術祭」の参加事業として秩父市よりご支援ご協力をいただきました。

１部は例年通り各団体の力強く美しいハーモニーに感動致しました。男声ならではのステージに盛り上がり、１部をしめくくって頂きました。２部は野外ステージにて音楽を楽しみ懇親を深めました。鏡割りでの「カンパイ」から始まり、秩父のグルメ（あげたてみそポテト）など、沢山の秩父名産の食べ物や名酒秩父錦で楽しみました。参加者の皆様の笑顔につつまれた幸せな１日を過ごさせて頂き、矢尾百貨店をはじめ今回の会にご協力頂きました方々に感謝を申しあげます。ありがとうございました。来年もお逢いできる事、楽しみにしております。　（常務理事　大舘　直美）

♪参加者の声♪

とても楽しくて、男声コーラスの在り方がうらやましく思いました。

バスの中は“女子高のノリ”で盛り上がり、参加して良かったと感じております。

（コーラル・ソシア）

各団の個性が良く出ていて、実に楽しいコンサートになってきた感じです。

決して上手に歌う事だけが全てではないのがすばらしいと思います。　（メンネルA.E.C.）

60周年

越谷市民合唱団よしきり

幹事　貴田陽一

創団は1952年
ヨシキリの鳴く初夏でした…

17歳の少年が、77歳の老人になるまでの60年、一合唱団員として歌いつづけて来た歴史です。創団は1952年（昭和27年）5月ヨシキリの鳴く初夏でした。

創団者は芸大出身の中学校長に請われて越谷に来た音楽教師でした。同師は学校内ばかりでなく、町にまで出て来て、当時合唱に触れたことの無い若者たちに呼びかけてくれました。

そしてそこに集まった若者達に合唱の喜びを情熱的に語り、共に歌って若者を巻き込んでいきました。時あたかもヨシキリの鳴く初夏、師は「ヨシキリ合唱団」と命名してくれました。

1959年（昭和34年）2月、浦和一女の尾花勇先生に呼び出されて、埼玉県合唱連盟への加盟を促され、即座にそれを受けました。東部地区唯一の合唱団として迎えられました。以来紆余曲折はありましたが、その都度私達を見守り励まして下さった歴代の埼玉県合唱連盟の理事長先生方によって命脈を保ちました。

今でも私の耳にあるものは「この灯を消さないで。」との尾花先生の温かい励ましの言葉です。私達はこの秋記念演奏会を開きます。感謝を込めて。

それぞれの周年記念

35周年

戸田市児童合唱団

団長　石塚清美

授業では味わうことの
できない楽しさを…

戸田市児童合唱団は、昭和51年4月に設立されました。当時から学校の音楽の授業では味わうことが出来ない音楽の醍醐味や楽しさを、団員が一丸となって経験出来る場となってきました。時には、団員が50名以上の大所帯の頃もあつたようでございます。時代と共に、子供たちを取り巻く環境は多種多様化し、趣味や興味も様々で、現在は25名程で活動しております。中には、小学生の頃入団し、大学生になっても在籍をして後輩の指導のサポートをしてくれています。

近年は、戸田市内の行事で市歌の斉唱依頼も多く、合唱を通してボランティア活動に参加したり、青少年活動の参加団体として協力をしています。

本年4月には、35周年記念演奏会を川口リリアにて行いました。当日は、爆弾低気圧の影響で、交通機関の乱れる中、会場に足を運んで下さったお客様と一体となり、大変感動のできた演奏会を行うことが出来ました。また、当日お越し頂けなかった方々から、『みたかった』という声が届き、6月に再演を致しました。団員・保護者共に、会場の皆様の心温まる拍手に大変嬉しく、今後の活動の大きな支えになりました。40年、50年と次の世代の子供たちにつなげていけるよう活動して参ります。今後とも、関係各位の皆様、宜しくお願い申し上げます。

♪私たちの場所 Stage

春日部市民混声合唱団

事務局　大岩　誓子

2009年９月、２回の体験講座を経て10月に活動開始。初心者集団に数人の経験者が加わり、誰でも知ってる名曲をよりアカデミックに！と楽しく奮闘中です。ちょうど満３歳…とは言っても、歌う事で若さを保ちたいと“渋さ”に長けた面々揃い。ピアノさんが唯一初々しさを醸し出してくれています。アカペラの響きに興じつつも華麗なピアノとの協演はやっぱり嬉しい。独・英・墺・日本、そして今年はロシア民謡の重厚な声に挑んでいます。旅好き?!の集りと見えて、全国各地や海外の逸品が、毎週、休憩時間を待たずして陳列され、おしゃべり弾む試食タイムも含めて２時間、のびのびと声を張りあげ、身も心もスッキリとして帰路につく心は至福の笑みです。

讃歌の友

代　表　中川　節子

讃歌の友は、浄土真宗最勝寺を活動拠点として「仏教讃歌」を歌っています。仏教讃歌は、様々な西洋文化が輸入された明治時代に、キリスト教の賛美歌に影響を受けて作られるようになり、今では300曲以上あります。その中にはコーラスでお経をつとめる音楽法要や、山田耕筰氏・清水脩氏をはじめとする作曲家による名曲の数々があります。讃歌の友は、お寺の法話会に集まった方が、こうした曲をひとつずつ覚えることから出発したグループです。現在ではレパートリーも増え、年３回の本堂でのミニコンサートや、毎年築地本願寺で開催される仏教讃歌のコンサートに出演するなど、活動の場が広がっています。

所沢市立狭山ヶ丘中学校合唱部

部長　堤　若菜

通学路に緑の茶畑が広がる恵まれた環境の中に狭山ヶ丘中学校があります。平成元年に創部された合唱部は現在、38名が活動しています。水曜日を除く平日は生徒だけで、毎週土曜日は指導者の先生と主に音楽創りを中心に練習を重ねています。日々の練習はそれぞれのパートが課題を克服するため努力し、それを土曜日の練習に生かすようにしています。また選抜男子との混声合唱の練習も夏休みや放課後行い、発表の場を設けています。定期演奏会でのミュージカル公演や地域のボランティア活動等、コンクール参加だけでなく、年々活動の場を広げています。これからも、より高い音楽性を求めて頑張って行こうと思います。

熊谷西高等学校合唱部

部長　並木　里沙

私達合唱部は、２年生６名、１年生12名、計18名で、顧問の荒井先生と副顧問の中野先生の指導のもと、月曜日から土曜日まで楽しく活動しています。練習は主に体操、発声、ハーモニーを中心に響きを大切に行っています。目標は「天使の歌声」ですが、まだまだほど遠く、少しでも近づけるよう頑張っています。

合唱部のメインは、毎年７月に行う定期演奏会です。２年生の劇、十数年続くOB・OGと一緒に歌う「ハレルヤ」は伝統を感じ練習にも力が入ります。今年は男子部員が増えたので深みも増し、今まで以上にレベルアップできるよう努力していきたいと思います。

編集後記

埼玉は小中高と学校の合唱が盛んで、他県と比べて男声合唱団の数も多く、もちろん女声や混声の力も全国レベルです。良い指導者に恵まれているからでしょう。これからも皆さんが楽しく演奏できる場を提供して参ります。

（理事　加藤　良一）